

Akio YASHIRO

50th Anniversary Memorial Concert

2026 年 10 月 18 日 (日) 14 時開演
(13 時 30 分開場)

● 浜離宮朝日ホール

全席指定 4,500 円

朝日ホール・チケットセンター (5/1 より発売)
03-3267-9990 (日・祝除く 10:00-18:00)

朝日ホール・チケットセンター 検索

就学前のお子様のご入場はご遠慮いただいております。
託児サービスをご利用ください。

【託児のお申込み】 イベント託児・マザーズ (要予約) 0120-788-222

主催

株式会社 音楽之友社

朝日新聞社／浜離宮朝日ホール

お問い合わせ

音楽之友社出版局楽譜部
03-3235-2135

企画・構成

青柳いづみこ

出演

青柳いづみこ・田所光之マルセル (ピアノ)

多久和怜子・占部智美 (フルート)

ピアノのためのソナチネ (1945) — pf 青柳いづみこ

ピアノ連弾のための古典組曲 (1951)

— pf 田所光之マルセル・青柳いづみこ

2 本のフルートとピアノのためのソナタ (1958)

— fl 多久和怜子・占部智美 / pf 青柳いづみこ

...

ノクチュルヌ (夜曲) (1947) — pf 青柳いづみこ

ミニ・レクチャー (お話 青柳いづみこ)

矢代秋雄のソナタとベートーヴェン「ソナタ op.109」

ピアノ・ソナタ (1961) — pf 田所光之マルセル

けっして色褪せない——矢代の音楽は
いまなお多くの人を虜にする

矢代秋雄
没後五十年記念コンサート



青柳いづみこ ——— 企画・ピアノ・お話



ピアニスト・文筆家。安川加壽子、ビエール・バルビゼの両氏に師事。フランス国立マルセイユ音楽院卒。東京藝術大学大学院博士課程修了。学術博士。武満徹、矢代秋雄、八村義夫作品を集めたリサイタル『残酷なやさしさ』により、平成2年度文化庁芸術祭賞。演奏と文筆を兼ねる存在として注目を集め、著作は35冊、CDは26枚を数える。そのうち18枚のCDが『レコード芸術』誌で特選盤となるほか、安川加壽子の評伝『翼のはえた指』で吉田秀和賞、『青柳瑞穂の生涯』で日本エッセイストクラブ賞、『六本指のゴルトベルク』で講談社エッセイ賞、CD『ロマンティック・ドビュッシー』でミュージックペンクラブ音楽賞。2020年、浜離宮朝日ホールにて演奏生活40周年記念公演を開催。近著に『ショパン・コンクール見聞録』（集英社新書）、『パリの音楽サロン ベルエボックから狂乱の時代まで』（岩波新書）、『サティとドビュッシー 先駆者はどちらか』（春秋社）、CDに『仮面のある風景 クーブラン作品集』（TKI）、『カプリス 気まぐれ』（西本夏生との2台pf）、『19歳のシューベルト』（クリストフ・ジョヴァニネッティvnとのデュオ）、『逃げ出させる歌 ピアノ独奏と連弾によるエリック・サティ選集』（高橋悠治 pfとのデュオ、以上ALM）をリリース。テレビ朝日『題名のない音楽会』、NHK E テレ『クラシックTV』、『ラ・フォル・ジュルネ音楽祭』『東京・春・音楽祭』等にも出演。日本演奏連盟理事、日本ショパン協会理事、兵庫県養父市芸術監督。大阪音楽大学名誉教授。

オフィシャルサイト：<https://ondine-i.net> 公式Facebook ページ：<https://www.facebook.com/aoyagi.izumiko>

田所光之マルセル ——— ピアノ



© Shigeto Imura

「心と指が完全に一致し、どんな音楽でも自在に操ることができる真の音楽家」（グラモフォン誌）

2021年モントリオール国際音楽コンクールのファイナリストを経て、2022 年ヴァン・クライバーン国際ピアノコンクールでジョン・ジョルダーノ審査員長特別賞、サンタンデル国際ピアノコンクールでは第3位を受賞。これまで読売日響、東京響、名古屋フィル、愛知室内オーケストラ、ウラル・フィル、ワロニー・ロイヤル室内管などと共演している。

日本人の父とフランス人の母の間に生まれ、多様な文化の中で育った幼少期は、田所の音楽観に多大な影響を与えた。名古屋市立菊里高等学校音楽科卒業後、パリ国立音楽院に満場一致の首席で入学。そしてJ-F.エッセール、F.ボファールの両氏に師事し、ドビュッシー国際コンクールでは第2位を受賞。ほかにも数多くのコンクールで受賞を果たしている。同音楽院を卒業してからは、エコール＝ノルマル音楽院に奨学生として入学し、R.シェレシエフスカヤのもとさらに自らの音楽に磨きをかけている。

ほかにもO.ガルドン、M.ラフォレ、E. ボジャノフ、海老彰子、田島三保子、鈴木彩香、長野量雄、水村さおりの各氏にも師事。

多久和怜子 ——— フルート



埼玉県出身。上野学園大学演奏家コース卒業後、桐朋学園大学研究科修了。卒業演奏会、第81回読売新人演奏会、第38回フルートデビューリサイタルに出演。小澤征爾音楽塾オペラプロジェクトXI、サイトウ・キネン・フェスティバル松本「青少年のためのオペラ」などに参加。フルートを野口龍、段田尚子、倉田優の各氏に、ピッコロを片爪大輔に師事。室内楽を佐々木祐子、原田禎夫、吉野直子、猶井正幸の各氏に師事。第11回東京音楽コンクール木管部門第2位、第29回日本管打楽器コンクール第3位、第82回日本音楽コンクール第2位等、その他コンクールで入賞。

これまでに東京文化会館主催「モーニングコンサート」、「はじめましてクラシック」、NHK-FM「リサイタル・パッショ」などに出演。2020年には、東京オペラシティ文化財団主催「B→C」リサイタルシリーズに出演した。

現在、東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団首席フルート奏者。Theater Orchestra Tokyoメンバーとしても活動するほか、東邦音楽大学、上野学園中学校・高等学校、愛知県立芸術大学（室内楽）にて後進の指導にあたっている。

占部智美 ——— フルート



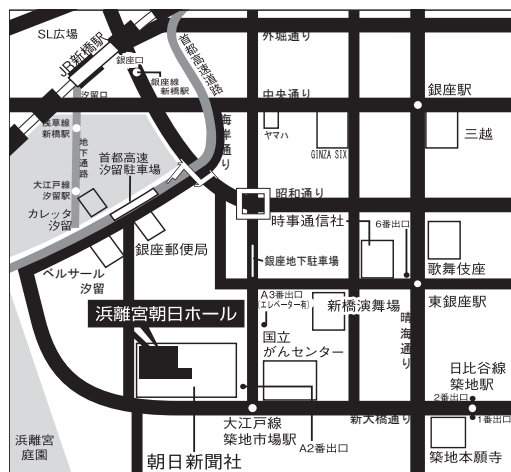
慶應義塾大学文学部独文学専攻、桐朋学園芸術短期大学芸術科音楽専攻卒業。同短期大学専攻科音楽専攻を経て、桐朋オーケストラ・アカデミー研修課程修了。2018年～2022年まで広島ウインドオーケストラ楽員。

市川市文化振興財団第30回新人演奏家コンクール管楽器部門最優秀賞受賞。

これまでにフルートを柳原佑介、吉岡次郎、泉真由の各氏に、フラウト・トラヴェルソを菊池香苗氏、ジャズ・アドリブ演奏を坂上

領氏に師事。

現在、吹奏楽やオーケストラへの客演を中心に、ソロや室内楽、ライブサポート・レコーディング等の演奏活動および学生のサークル・部活動での指導を行っている。



● 浜離宮朝日ホール

〒104-8011
東京都中央区築地5-3-2
朝日新聞東京本社・新館2階

「築地市場駅」都営大江戸線（A2出口）すぐ
※A2出口はエスカレーター、A3出口はエレベーターがご便利です。

「築地駅」東京メトロ日比谷線（1、2番出口）より徒歩約8分
「東銀座駅」東京メトロ日比谷線／都営浅草線（6番出口）より徒歩約8分
「汐留駅」都営大江戸線（新橋駅方面改札口）／新交通ゆりかもめ（改札口）より徒歩約10分
「新橋駅」JR（汐留口）／東京メトロ銀座線（1、2番出口）／都営浅草線（改札口）より徒歩約15分

Akio YASHIRO
October 18, 2026, 2:00 PM start
Hamarikyu Asahi Hall
50th Anniversary Memorial Concert